

WE LOVE KURE委員会

委員長 國久保 純

[スローガン]

～若き心に衝撃を～

[基本方針]

呉市に生まれ呉市にて育ち呉市で商いを行う私はもちろん、この地が地元であり、地元が好きでこの先も住み続けたいと常に思う。呉市のまちづくりに携わるようになってからこの思いが強くなった。それ故、多くの市民の方が好きだからこのまちに住んでいる事を願いたい。

「呉」と聞いて思うことは何だろう。「呉」の良い所はなんだろう。色々あるだろうが、人それぞれ違う目線によっては違うものが見えてくるだろう。

学生時代によく友人に「呉」で遊べる場所はどこ？と聞かれたが、「・・・特に何も無いよ」としか言えない自分がいた。何気なく「呉」に住んでいた自分には、インパクトのあるものが特に無かったのだろう。そんな自分だったが、青年会議所を通じ、地元の呉に携われば携わる程見えてくるものが多くなる事を肌で感じ、自分の目線から見えるものも毎年違ってきている。

今の子ども達は何を想っているのだろうか。今の子ども達は何を見ているのだろうか。これから更に少子高齢化が進む中で、まちの働き手、活性においても若い世代の存在が重要である。今後の「呉」を支えていくのは彼等の手にかかっているといっても過言ではない。出来る事なら「呉」に住み、地元の力になって頂きたい。そして地元を愛し、自信を持って「呉」を語ってもらいたい。これから他県や海外に出て羽ばたく方々にも我が地元は広島県の「呉」だと自信を持って公言して頂きたい。

これからの将来を支える子ども達に、これぞ「呉」のまちだと思えるような強いインパクトを与える事が出来れば心に響くであろう。五感で感じられるような体験が出来れば、必ず身体に残る。事業を通じてこの先、このまちから離れる事があっても「呉」が故郷であり、また帰ってきたいと一人でも多くの方の心に刻む事が自分自身の使命である。

10年経っても体が覚えている。そして一生忘れられないような衝撃を若き心に強く残す為に、今こそ多数の経験をさせてもらった力を発揮する時であり、本気で取り組む時である。一年間突き進んでいきますのでご協力お願いします。

〔事業計画〕

1. 事業名：3月例会
目的：今年度の事業概要及び目的をメンバーに周知する
方法：委員会メンバーによるプレゼンテーション

2. 事業名：7月例会
目的：WE LOVE KURE～インパクト～（仮称）事業の説明を行い、メンバーに協力を仰ぐ
方法：委員会メンバーによるプレゼンテーション

3. 事業名：WE LOVE KURE～インパクト～（仮称）
目的：子ども達の心に残るインパクトを与え、呉こそが故郷だと強く認識してもらうため
方法：体験型事業の実施

4. その他